

平成22年11月8日

横浜市環境創造局長
萩島 尚之 様

横浜市下水道事業包括的管理委託
総合評価審査委員会

委員長	長岡	裕
委員	池田	陽子
委員	稲員	とよの
委員	櫻井	克信
委員	中村	博之

南部汚泥資源化センター包括的管理委託における
落札候補者の選定結果について

標記について、平成22年11月8日、横浜市下水道事業包括的管理委託総合評価審査委員会におきまして別紙のとおり審査をおこないましたので、その結果を報告いたします。

1 本事業の概要

環境創造局南部汚泥資源化センターでは、現在、「包括的管理委託」（平成 19 年 7 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日）を実施していますが、平成 23 年度から 5 年間の「包括的管理委託」の更新にあたり、より効率的な維持管理の運営を目指して「包括的管理委託」の落札者候補を決定します。

(1) 件名

南部汚泥資源化センター包括的管理委託

(2) 履行場所

南部汚泥資源化センターほか 7 か所

(3) 履行期間

平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（5 か年）

ただし、以下を引継期間とする。引継期間の経費は落札者の負担とする。

平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

2 審査方法等

(1) 事業者選定の方法

価格だけではなくその他の条件（公共施設等の機能性、公共サービスの水準等）も加味し、総合的に勘案して落札者を決定するため、「総合評価一般競争入札方式」による事業者選定を行った。総合評価一般競争入札とは地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2 に規定された契約方式である。

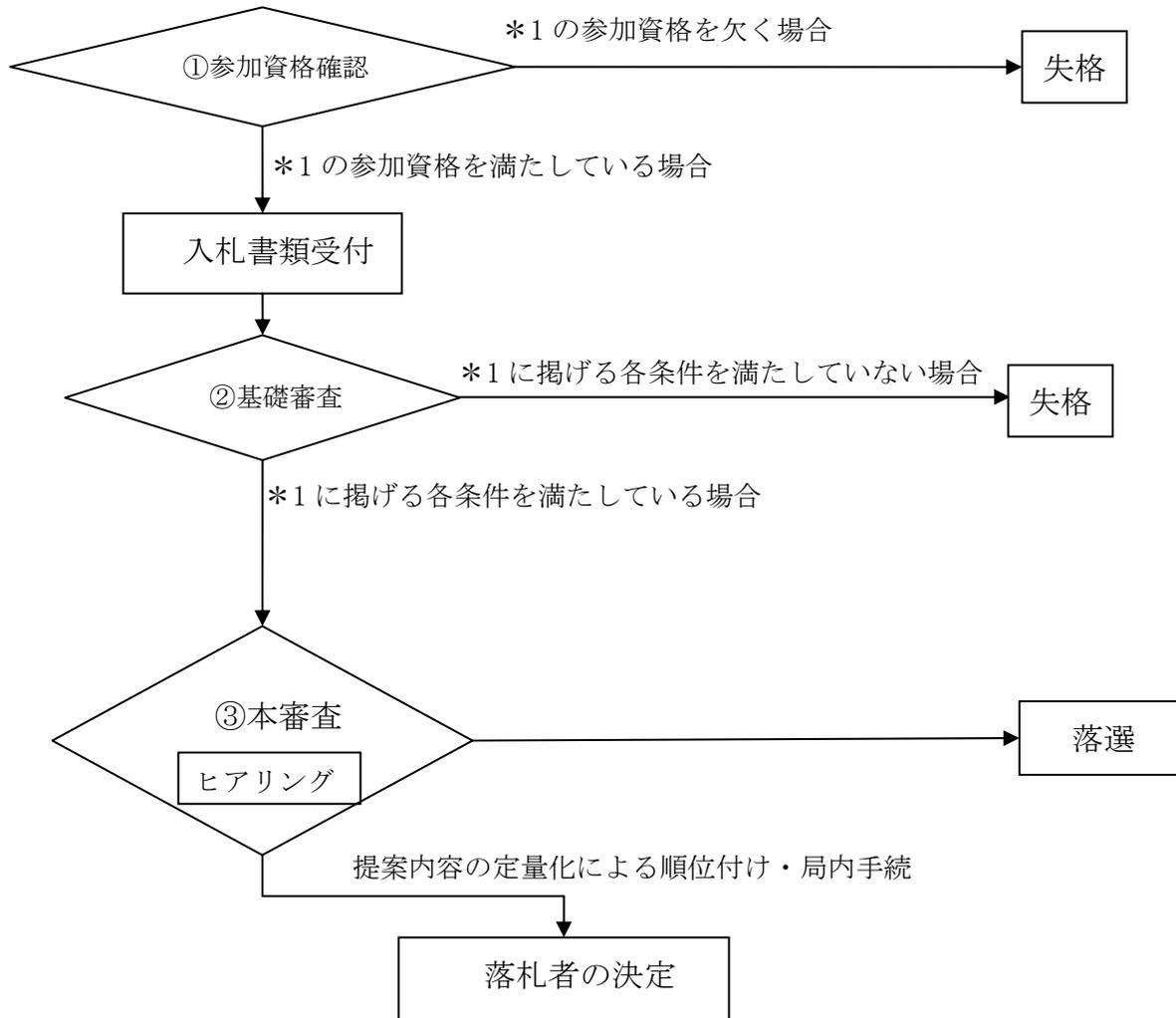
(2) 審査委員会

民間事業者の選定に当たり、公平性、透明性に配慮した上で、委託料だけでなく民間事業者の技術提案を考慮して適切な事業者の選定を行うため、下記の学識経験者等で構成される「横浜市下水道事業包括的管理委託総合評価審査委員会」を設置した。審査委員会を構成する委員は、次のとおりである。（敬称略）

委員長	長岡 裕	東京都市大学 都市工学科教授
委員	池田 陽子	明大昭平・法律事務所 弁護士
委員	稲員 とよの	首都大学東京 都市環境学部教授
委員	櫻井 克信	社団法人全国上下水道コンサルタント協会 専務理事
委員	中村 博之	横浜国立大学 経営学部会計・情報学科教授

(3) 事業者選定の流れ

落札者の決定までの選定手順は、次のとおりである。



*1：南部汚泥資源化センター包括的管理委託評価方法及び落札者決定基準に記載されている条件

(4) 提案評価

質に関する評価点は、アに示す評価項目ごとに、イに示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は落選とする。

ア 評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容
実施方針	汚泥資源化センターの特性や市における本事業の位置づけを十分に理解しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本事業に対する理解度 安定処理と有効利用 	50	<ul style="list-style-type: none"> 受送汚泥スケジュールを含めた汚泥処理の安定化 焼却灰や消化ガスの有効利用への理解 履行実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。	人員配置	50	<ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置 有資格者の配置状況 研修教育の実施体制
		マネジメント	40	<ul style="list-style-type: none"> 責任者による現場管理、センター全体総括管理、PDCAによる管理体制 運営管理業務体制 会社全体のバックアップ体制
		引継ぎ	20	引継ぎ時の協力体制
運転管理計画	運転管理方法は妥当なものか。 セルフモニタリングは機能するか。	運転計画	60	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の運転、処理状況の把握と管理 市の工事計画との整合性 年間を通じた安定稼働、効率運転に向けた計画
		水質等管理	40	<ul style="list-style-type: none"> 水質や排ガスの適正な管理 処理悪化時の対応方法
		薬品の調達等	20	適正な調達管理、選定基準の考え方
維持管理計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は、施設の管理を委ねるのに適切か。	定期点検	60	<ul style="list-style-type: none"> 適切な日常点検と定期点検 点検結果を考慮した予防保全 維持管理データの蓄積と活用（長寿命化計画や、整備計画への対応） LANの活用
		軽微な修繕	50	<ul style="list-style-type: none"> 市との実施協議 迅速かつ、適切な対応が可能な管理計画 修繕先の選定方法
リスク管理	施設の特性を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する対応体制は適切か。	リスク項目と対応策	60	<ul style="list-style-type: none"> 災害、故障等の具体的な対応策 緊急時のマニュアル整備、定期訓練
		緊急時の対応	50	<ul style="list-style-type: none"> 事故、故障等の緊急時対応 会社としてのバックアップ体制
施設管理	安全、防犯、環境等に配慮した計画となっているか。	安全、防犯、環境等への配慮	50	<ul style="list-style-type: none"> 安全、防犯等への取組み 環境行動（地域貢献、場内美化、緑化）の取組み 省エネルギーへの対応
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	優れた提案	50	<ul style="list-style-type: none"> 応募者の創意工夫による追加的な提案 地域活性化や、本事業に対する高度な提案
合計			600	

イ 加算点の点数化方法

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点) × 1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点) × 0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点) × 0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点) × 0.0

3 事業者選定の経緯

本事業における契約交渉者選定までの主な経緯は以下のとおりです。

平成 22 年 5 月 17 日	第 1 回審査委員会 (総合評価一般競争入札の実施と落札基準の決定)
平成 22 年 6 月 8 日	入札公告
平成 22 年 6 月 9 日～6 月 30 日	現場説明 (2 者)
平成 22 年 7 月 14 日	・ 入札参加資格確認書提出期限 提出者：月島テクノメンテサービズ株式会社横浜支店 ：石垣メンテナンス株式会社東京支店
平成 22 年 7 月 21 日	入札参加資格確認結果の通知
平成 22 年 7 月 30 日	1 者 入札辞退
平成 22 年 8 月 4 日	・ 入札 (書類受付) 入札者：月島テクノメンテサービズ株式会社横浜支店
平成 22 年 10 月 8 日	第 2 回審査委員会
平成 22 年 11 月 8 日	第 3 回審査委員会 (落札候補者決定)
平成 22 年 11 月 24 日 (予定)	落札者決定 (環境創造局第一委託業者選定委員会)
平成 22 年 12 月上旬 (予定)	契約締結
平成 23 年 1 月中旬 (予定)	落札公告

4 応募状況

以下の 1 者から応募があった。

月島テクノメンテサービズ株式会社横浜支店

5 審査結果

(1) 参加資格確認

入札説明書第 6 項(1)から(2)に示す事項について確認した結果、入札参加資格を有していることを確認した。

(2) 基礎審査結果

落札者決定基準の第 3 項に基づき基礎審査を実施した結果、入札価格 (52 億 3,530 万円、消費税及び地方消費税相当額を含む。) が予定価格 (53 億 2,980 万円、消費税及び地方消費税相当額を含む。) を下回っていた。

(3) 本審査結果

本審査は、加算方式による評価を行う。総合評価点は1,100点満点とし、価格に関する配点を500点、業務提案の質に関する配点を600点とした。

総合評価点（1,100点満点）＝価格に関する評価点（500点満点）＋ 質に関する評価点（600点満点）

ア 価格審査結果

価格に関する評価点は次式のとおりに計算した。

価格に関する評価点 = (最低応札価格) / (応札価格) × 500

500点 = 52億3,530万円 / 52億3,530万円 × 500

イ 提案書審査結果

審査委員5名による提案内容に関する審査を行った結果は以下のとおりである。

評価項目	配点	α社
実施方針	50	50
業務実施体制	110	105
運転管理計画	120	120
維持管理計画	110	97.5
リスク管理	110	95
施設管理	50	50
独自提案	50	50
合計	600	567.5

ウ 総合評価結果

価格審査、提案書審査を踏まえ、総合評価方式による本審査の結果は以下のとおりである。

審査項目	配点	α社
価格審査	500	500
提案評価	600	567.5
合計	1,100	1,067.5

エ 審査講評

評価項目	講 評
実施方針	本事業に対する趣旨目的をよく理解しており、実績もある。また、施設の特性を理解しつつ、重要な5つの管理ポイントが整理してあり提案が具体的である。
業務実施体制	人員配置は適切であり、有資格者も十分に配置されている。またバックアップ体制も具体的に記述されており高く評価できる。 業務完了時の引継ぎ内容について記述が不十分である。
運転管理計画	運転管理については、自主管理基準の数値が設備ごとに定められており、効率運転のポイントについても具体的に把握されている。また、水質分析については、自主的な管理に向けた取組や処理悪化時への対応も具体的に記述されている。 薬品調達計画は、品質管理が具体的であり、地元業者を効果的に利用する計画となっている。
維持管理計画	優れた診断技術が導入され、高く評価できる。また、軽微な修繕については合理的な修繕が行われることが期待できる内容となっている。 外注時の見積もり評価体制に関する記述は、不十分であった。
リスク管理	各設備において想定される事故の把握とその対策は具体的であり、リスク項目ごとに迅速な対応ができる体制になっている。 地震などの大規模震災への対応体制、災害発生時の横浜市との連絡体制については、記述がやや不足している。
施設管理	省エネルギー、環境対策等、積極的な提案が見られ、内容も具体的である。
独自提案	カメラの設置、情報統合システム等、管理体制の効果的な強化が図られている。

オ 落札候補者の決定

入札説明書に定める審査を実施し、α社【月島テクノメンテサービズ株式会社横浜支店】を落札候補者として決定する。